

とちぎソーシャルビジネスサポートネットワークの発足について

「とちぎソーシャルビジネスサポートネットワーク」発足式

1. 日 時 平成27年12月25日（金）
午後2時から2時30分
2. 場 所 栃木市役所4階 議会会議室
3. 内 容
 - 1 開 会
 - 2 出席者紹介 (順不同)
栃木市
栃木商工会議所
大平町商工会
藤岡町商工会
都賀町商工会
西方商工会
岩舟町商工会
関東信越税理士会 栃木支部
栃木県行政書士会 栃木支部
栃木信用金庫
とちぎ市民活動推進センター くらら
日本政策金融公庫 佐野支店
 - 3 挨拶
 - 4 「ネットワーク発足の趣旨」確認
 - 5 質疑応答
 - 6 記念撮影
 - 7 閉 会

●ネットワーク発足の趣旨

様々な社会的課題に取り組むソーシャルビジネスの育成及び振興を包括的かつワンストップで支援するため、関係機関が有する機能を提供し合い、連携して取り組むことにより、社会的課題の解決を促進し、ひいては、地方創生実現への貢献を図ることを目的とする。

総合政策部地域まちづくり課 市民協働推進担当 渡辺 電話 0282-21-2332

●参考

ソーシャルビジネスとは（政府広報オンライン）

私たちの周りには、子育て支援や介護・福祉、地域活性化、環境保護などの様々な社会的課題があります。このような社会的課題の解決に向けて、住民やNPO法人、企業などがビジネス手法を用いて取り組む事業をソーシャルビジネスといいます。

ソーシャルビジネスが一般企業の営利事業と最も異なるところは、事業の目的として「利益の追求」よりも「社会的課題の解決」に重点を置いていることです。また、ソーシャルビジネスがボランティア活動と異なるところは、社会的課題に取り組むための活動資金を、寄附や行政からの助成よりも、ビジネスの手法を活用して自ら稼ぎ出すことに重点を置いていることです。

人々の価値観やニーズが多様化し、行政だけではこうした社会的課題への対応が難しくなっている中で、社会的課題やニーズを“市場”として捉え、それを解決するための取組を、持続的な事業活動として展開する「ソーシャルビジネス」に注目が集まっています。

事例紹介（ソーシャルビジネス55選事業例 経済産業省平成21年2月）

① 地域活性化・まちづくり

- ・NPO法人えがおつなげて（山梨県北杜市）

- ・事業概要

限界集落の「遊休農地」の開墾活動を行う「農村ボランティア」を募り、学生や企業の人材を活かすビジネスモデルを確立した。

② 子育て支援

- ・NPO法人フローレンス（東京都中央区）

- ・事業概要

病児保育を行うため子育てを終えた母親を保育スタッフとして登録することで、「脱施設」を図り、また「月会費制」により、経費削減と収入の安定化を図るビジネスモデルを確立した。

③ 地域産業振興

- ・株式会社いろどり（徳島県上勝町）

- ・事業概要

高齢者を中心とした農家が、葉っぱや草花を料亭やホテル・旅館で使われる料理の「つまもの」として出荷する事業を通して、高齢者の社会参画による地域活性化を実現している。

④ 企業家育成、創業・経営の支援

- ・NPO法人コムサロン21（兵庫県姫路市）

- ・事業概要

交流の場の提供を目標とした市民活動の事務局の代行機能をもった交流サロンを展開し、地域の人・モノ・金を結びつけることで地域活性化を進めている。